

(仮称)西小倉地域小中一貫校整備事業について

1. 保護者向け説明会、地域住民向け説明会について

・保護者向け説明会

(日時) 令和5年7月27日(木)19時～ 参加人数 22名
令和5年7月29日(土)10時半～ 参加人数 11名
令和5年7月29日(土)15時～ 参加人数 6名
(場所) 西小倉小学校ランチルーム

・地域住民向け説明会

(日時) 令和5年8月5日(土)18時～ 参加人数 24名
(場所) 西小倉コミュニティセンター集会室

資料1 説明会における主な意見

(参考資料1) 宇治市学校給食センター基本計画(抜粋)【説明会資料】

(参考資料2) (仮称)西小倉地域小中一貫校の整備に向けての考え
【説明会資料】

説明会の終わりに意見交換用紙により参加者からの意見聴取を実施

2. 児童生徒との意見交換について

(対象) 西小倉小、北小倉小、南小倉小、西小倉中の全児童生徒
(時期) 1学期末
(内容) (仮称)西小倉地域小中一貫校の整備内容等の動画を視聴後に、
質問や思いなどを記述

3. その他

- ・西小倉地域小中一貫校整備検討委員会
第14回学校部会 令和5年7月19日(水)
- ・(仮称)西小倉地域小中一貫校 Instagram(インスタグラム)について



説明会における主な意見

1. 保護者向け説明会（7/27（木）、7/29（土））

小中一貫教育、小中一貫校について	...	P2、P3
（仮称）西小倉地域小中一貫校の施設について	...	P4、P5
工事内容、スケジュール、工事中の学校運営について	...	P6、P7
給食提供について	...	P8
その他の内容	...	P9、P10

2. 地域住民向け説明会（8/5（土））

（仮称）西小倉地域小中一貫校の施設について	...	P11、P12
給食提供について	...	P12
西小倉地域小中一貫校整備検討委員会、小学校の跡地活用について	...	P13、P14
その他の内容	...	P15、P16

1. 保護者向け説明会（7/27（木）、7/29（土））

小中一貫教育、小中一貫校について

質問・意見	小学校1年生と中学校3年生が同じ施設になることでの不安があるが、どのように対処するのですか。
回答	宇治黄檗学園における経験から、中学生は小学生に対して優しく穏やかな学校風土になると考えています。 【資料「(仮称)西小倉地域小中一貫校の整備に向けての考え P1 (小中一貫校について) に掲載事項により説明】
質問・意見	小学生と中学生は体の大きさも異なります、小中一貫校で活動が同じになることは大丈夫ですか。
回答	施設面のゾーニングとしては、2階3階に小学校の普通教室を配置し、4階に中学校の普通教室を配置します。教室を移動する時などに、小学生と中学生が交わることはありますが、宇治黄檗学園においても、出会い頭にぶつかるようなことはありません。
質問・意見	小中学校でのトラブルに対する対策はどうなるのですか。
回答	職員室は小学校と中学校で一つとなっており、小中学校の教員同士で児童生徒の状況を共有しやすい環境としています。宇治黄檗学園では、児童会、生徒会活動を小中学校で一緒にするなど行っています。
質問・意見	学年割は4-3-2となるのですか。
回答	小学校は6年間、中学校は3年間ではありますが、身に付ける力などの区切りとして、小中学校9年間の中で、宇治市では4-3-2制を実施しています。 一例として、小学校における専科指導や、中学校の教員が6年生の教科を指導したりすることなどがあります。
質問・意見	何かのモデル校として取り組むのですか。
回答	現在は、課題解決型の教育の実施が必要であり、今回の設計もそのような教育が実施しやすい施設になっていると考えています。宇治黄檗学園では、お茶屋さんとタイアップをして、日本茶を世界へ売り込む手法を考えプレゼンをするなどの取組を行いました。西小倉地域小中一貫校においても、課題解決型の教育としての取組をしたいと考えています。

質問・意見	宇治市の教育の独自性はあるのですか。
回答	宇治で生まれ、宇治で育ち、進学や就職等で市外に出て、宇治に戻るといふ人生のサイクルの中で、乳幼児期の教育・保育の期間に加え、義務教育9年間の重要な時期に、小中一貫教育を実施します。
質問・意見	宇治から世界へ飛び出す時に、日本の文化を知ることが大切ではないですか。
回答	まずは、ふるさと宇治を知り、ふるさとを愛する心を醸成するためにも宇治学に取り組んでいます。また、学習指導要領においても、日本の文化を学ばなければなりません。自国の文化を自分の言葉で語ることができるようにしたいと考えています。

(仮称)西小倉地域小中一貫校の施設について

質問・意見	通級指導教室はどのようになるのですか。
回答	現在の南小倉小学校にある2教室の移行に加えて、中学校分の開設については、府教委と協議していきます。中学校分の通級指導教室の場所は1Fに確保しています。
質問・意見	北西にある屋外のプレイエリアに遊具を設置しますか。
回答	北西のプレイエリア以外の北側エリアへも設置する計画です。
質問・意見	何故、第二グラウンドを用意しないのですか。
回答	【資料「(仮称)西小倉地域小中一貫校の整備に向けての考え P3 ((仮称)西小倉地域小中一貫校の施設について)に掲載事項により説明】
質問・意見	体育館へ空調は設置できるのですか。
回答	現時点で空調整備の予定はありません。【資料「(仮称)西小倉地域小中一貫校の整備に向けての考え P9 (新しい施設整備の説明)に掲載事項により ZEB を説明】
質問・意見	体育館は避難所となるのですか。
回答	避難所となる予定です。西小倉地域全体としては、小学校の跡地活用の検討事項にも挙がっています。
質問・意見	不審者対応や門扉の電子錠機能はどうなるのですか。
回答	通用門付近には防犯カメラを設置します。センサーと連動し、人等の侵入に対しては、職員室で分かるようになります。 車両の門を電子錠化することは難しいと考えていますが、通用門については検討しています。現在の運用としては、常時門扉を閉じており、来校者がインターフォンを鳴らして校内へ入ることとしています。
質問・意見	登録車両のみが入れることにしないのですか。
回答	現在は、車両の登録を行うのではなく、インターフォン等で確認をした後に入ることができるようにと考えています。
質問・意見	消防設備、避難器具等を整備されることと思いますが、メンテナンスや使い方についても、しっかり周知等お願いします。
回答	設置で終わりではなく、点検の実施など、設置後も取り組んでいきます。
質問・意見	中庭と交流ホールを一体的に利用するとはどのようなことですか。また、中庭が人工芝となり50年経つと、中庭の状況も変わるのではないですか。

回答	例えば、交流ホールの演奏を中庭側も使って観賞したり、中庭の発表を交流ホールも使って観賞するなどの活用を一例としては考えています。 人工芝はメンテナンスも必要と考えています。
質問・意見	屋上プールに屋根があれば、雨天時にも活用できるのではないですか。また中学生も使えるのではないですか。
回答	プールの水面上に屋根を設置することは計画していませんが、一部に庇など日影になる工夫は行います。また、現在の西小倉中学校の体育の授業や部活動にプールの活用はありません。
質問・意見	放課後に自習するスペースを作ってほしいです。
回答	例えば、メディアセンターやコモンズの利用も可能と考えています。
質問・意見	屋上を緑化するなど、子どもがリラックスする空間として活用できないか。
回答	屋上には、太陽光パネルや室外機を設置しており、子どもが活用する空間としての想定はありませんが、植物を育てるなどの活用については検討します。
質問・意見	子どもの人数が増えた時の対策はあるのですか。
回答	1学年につき4クラス分の普通教室の整備を行い、開校時は概ね各学年で3クラス規模となり、一定の余裕を持たせた整備を行っています。
質問・意見	北側に遊具があることで、子どもに対する学校の対応はどのようになるのですか。
回答	遊具の配置については、学校全体として、どこに配置することが望ましいかの検討を行い、現在の計画としています。なお、その場所に常時職員がいることは難しいですが、休み時間に子どもたちが遊具で活動をしている間、見回りなどを行う予定です。
質問・意見	中庭に遊具を設置してはどうですか。
回答	遊具の配置に関しては、安全面を配慮した間隔が必要であることから、現在の計画としています。
質問・意見	中庭の人工芝で寝転ぶことは、不衛生で心配です。
回答	寝転ぶことは一例として説明をしました。開放的な空間として、子どもたちが伸び伸びと活動できるよう計画したものです。人工芝のメンテナンスも必要と考えています。
質問・意見	メイングラウンドの右下にあるものは何ですか。
回答	砂場です、走り幅跳びなど陸上競技においても使用します。

工事内容、スケジュール、工事中の学校運営について

質問・意見	工事中の騒音はどのようになるのでしょうか。
回答	【資料「(仮称)西小倉地域小中一貫校の整備に向けての考え P 6 (工事中の学校運営について) に掲載事項により説明】
質問・意見	工事中の新校舎と旧校舎が近いことで不安です。
回答	校舎の形状や配置の関係で、教室配置によって、工事場所から距離の違いはあります。防音シート等での対策を行い、工事を実施します。
質問・意見	防音シートで区切られている間は窓を開けることはできないのでしょうか。
回答	開けることも可能ですが、工事の内容に応じ閉じることが望ましい場合もあり、都度、最良の判断を行っていきます。なお、事前に工事説明を行います。
質問・意見	工事が伸びることなく、令和8年度に開校はできるのですか。入札不調などで事業が延期することはないのでしょうか。
回答	工事を発注するにあたって、現時点で想定できる対策は行い、予定通り進むことができるよう努力します。
質問・意見	令和8年度開校時に、子どもたちに施設を使ってほしいことは分かりますが、子どもたちは、それを望んでいるのでしょうか。
回答	【資料「(仮称)西小倉地域小中一貫校の整備に向けての考え P 5 (開校・工事スケジュールについて) に掲載事項により説明】
質問・意見	開校後、校舎解体中に小学生の体育はどこで行うのですか。
回答	サブグラウンドや体育館等の使用に加えて、南小倉小学校のグラウンドを使用することを想定しています。
質問・意見	土曜日に工事を行わないと言っていたのではないですか。近隣住民へは説明を行ってください。
回答	引き続き、ご説明等を行っていきます。
質問・意見	工事にあたる子どもたちへの対応はどのようにするのですか。部活動では進路への影響があるのではないですか。
回答	【資料「(仮称)西小倉地域小中一貫校の整備に向けての考え P 6 (工事中の学校運営について) に掲載事項により説明】 部活動について、宇治黄檗学園の開校時、グラウンドが使えない時に、他校と合同練習をしたり、黄檗球場を使用したりしました。今回も、他の場所で実施できるようにしていきます。

質問・意見	アスベストがある場合に工期が伸びるのではないですか。
回答	アスベストについては、市で調査を行ったところであり、施工業者においても実施する予定です。一部で非飛散性のアスベストの使用はありますが、それにより解体工事が伸びることはないと考えています。適切に処分も行います。
質問・意見	開校時に、屋外の避難場所はどのようになるのですか。
回答	災害の状況にもよりますが、屋外であればサブグラウンド、北側のエリアを避難場所として使用する予定です。
質問・意見	仮橋が完成した後に、テニスコートや体育倉庫は解体するのですか。
回答	工事順序はそのように考えています。
質問・意見	現在の場所で、いつまで部活動が実施できるのですか。
回答	R6年1月に、工事の契約を締結し、その後、工事説明会を実施、工事を開始します。工事が始まるまでは、今の場所が使えるようにと考えています。
質問・意見	各部活動の工事期間中の実施場所はどのようになるのですか。
回答	屋外部活動について、ソフトテニス部は西小倉中学校を使用します。その他の部活動は、近隣小学校や公園施設を使用、他校との合同練習を考えています。

給食提供について

質問・意見	給食センターの食材は国産となるのでしょうか。
回答	地産地消などを念頭に物資選定を行います。出来る限り、手作り給食の提供を行います。
質問・意見	給食について、物資選定委員会はどのようになるのですか。
回答	物資選定委員会は、これまでのノウハウを活用しながら今後検討していきます。
質問・意見	他の学校と同じ水準のものを食べさせたい保護者の意見は入る余地があるのですか。
回答	事業者からは、これから提案を受けます。センター給食になっても水準は確保していきます。
質問・意見	給食センターはどこに作られるのですか。
回答	【地図上で建設予定場所を説明（黄檗公園の近く）】
質問・意見	災害への対応はできていますか。
回答	災害リスクの低い場所を選定し、建物自体に対しても災害への強さを求めています。
質問・意見	給食センターについて、何社が入札に参加されるのですか。
回答	現在、10月初旬までの期間を設けており、たくさんのご提案をいただけるようにしたいと考えています。
質問・意見	配食方法はどのようになるのか。
回答	食缶で各クラスに配食します。食缶には、保温、密閉の機能を持たせます。【他市町の給食センターの映像で食缶を説明】

その他の内容

質問・意見	北小倉小学校の卒業生が、令和8年度に北宇治中学校の3年生となる場合、中学3年生から一貫校へ転校をするのでしょうか。子どもたちへも不安が無いように就学先のことをしっかり説明してください。
回答	北宇治中学校から中学3年生で一貫校へ転校をしなければいけないことはありません。北小倉小学校の卒業生が、兄弟姉妹が同じ中学校へ就学できるよう制度設計を考えています。
質問・意見	子どもの声を聴いてほしいです。デメリット部分の説明も必要です。子どもへの伝え方はどのようになっているのでしょうか。子どもたちの目線で計画を進めてほしいです。
回答	(仮称)西小倉地域小中一貫校の整備内容について、説明動画を用いて、学校で子どもたちへ伝え、現在、子どもたちから意見をいただいている状況です。今後も、子どもたちへ整備内容が正確に伝わるようにしていきます。
質問・意見	保護者の意見を聞かずに跡地活用の案が決定しているのではないですか。
回答	【資料「(仮称)西小倉地域小中一貫校の整備に向けての考え P11 (その他の内容) に掲載事項により説明】
質問・意見	南小倉小学校の跡地の半分をグラウンドにするなどは、できないのか。
回答	一つのご意見として受けさせていただきます。
質問・意見	教育現場は人手不足になっている。統合して教職員の数が減るのであれば、教職員の環境も整えてほしいです。
回答	教員の人数は、児童生徒数・学級数等により決定します。小規模校では担任外の教員が、大規模校より少ない状況です。今回の統合で全体の教員の人数は減少しますが、担任外や加配の教員の配置については、今後も府教委と協議を行っていきます。
質問・意見	開校時、移行期間の教職員の体制はどのようになるのですか。
回答	教職員数の人事等は、原則、年度ごとに決まります。開校時の業務に応じて、担任外の教員の体制などは検討します。
質問・意見	これまでの説明会で保護者から出た意見に対する反映はどのようにしてきたのですか

回答	自校給食の実施や第二グラウンドの整備については、これまでも市教委の考えをお伝えしてきました。手洗い場やトイレの個数などについても、ご意見をいただきながら、出来る限り、増やす検討をしてきたところです。
質問・意見	教員のスキルについて何か改革を進めているのですか。
回答	スキルの継承について、難しい面もありますが、様々な研修を行うなど取り組んでいるところです。
質問・意見	小中一貫校の校長は誰になるのですか。強い思いを持った方が来てくれるのですか。
回答	現時点で校長が決まっていることはありません。教職員の配置については、京都府教育委員会としっかり協議をしていきます。
質問・意見	SC（スクールカウンセラー）の人数はどのようになるのですか。
回答	宇治黄檗学園では1名配置であり、同様になるようにと考えています。
質問・意見	学校へ登校できない児童生徒への支援で、タブレットの活用は行うのですか。
回答	例えば担任とやり取りを行う際に活用しています。
質問・意見	その際には、親の関わりは必要なのですか。
回答	小学校低学年では、親も一緒に準備等を行います。高学年になれば思春期をむかえ、子どもだけで対応していることが多いです。

2. 地域住民向け説明会(8/5(土))

(仮称)西小倉地域小中一貫校の施設について

質問・意見	体育館の空調設備について、ZEB になっているから必要はない、と聞きましたが、校舎内も空調が無いのですか。
回答	校舎内の普通教室などには空調はあります。ZEB により、断熱効果が高い体育館となります。
質問・意見	地域から、小中一貫校の整備に関して要望を出された際に、十分な活動が可能なグラウンドを確保することが前提条件だったはずで、資料において、第二グラウンドの必要性について、十分に確保できていると記載がありますが、問題はないのですか。
回答	開校場所について、地域主体の開校準備協議会においても検討をいただき、校地面積の状況も踏まえ、最終的に西小倉中学校に決定しました。グラウンドについては、整備する学校で教育活動がしっかり行えると考えています。放課後の子ども達の遊び場については、跡地活用の中でもご意見をいただいている状況です。
質問・意見	体育館の断熱性が高くても空調無しでは、避難所としては到底使えないのではないのですか。
回答	避難所については、小中一貫校を使用する他、対象が広いため跡地検討の中でもご意見をいただいている状況です。
質問・意見	体育館の空調は、現在の小中学校の体育館に設置がないので、設置がなくてもマイナスにはならないと思います。
質問・意見	ZEB は経費節減のために行うのですか。
回答	ZEB の目的は経費節減ではありません。環境への配慮、省エネ化が目的であり、施設整備においては、ペアガラスの使用や高断熱化の部材などを使用して高額となる部分もあります。最終的には省エネ化を実現し、光熱水費が抑えられるようになれば良いとも考えています。
質問・意見	世の中には高断熱化の体育館はあるのですか。
回答	市内の小中学校ではありませんが、高断熱化された建物も増えてきています。
質問・意見	高断熱化をしたとしても体育館は暑いのではないのですか。

回答	冷風機や送風ファンなどの備品も並行して使用し、できる限り涼しくなるようにしていきます。
質問・意見	体育館の目標温度設定などは具体的にあるのですか。
回答	体育館については、暑さ指数を測りながら、危険な時は活動を停止しています。冷風機なども活用しています。
質問・意見	第二グラウンドの整備をしてほしいです。放課後における子ども達の遊び場の確保が必要、南小倉小学校を第二グラウンドとして整備してほしいです。
回答	敷地内のグラウンドを活用し体育・部活動の実施を行うことから、第二グラウンドの整備は検討しておりません。宇治黄檗学園においても、グラウンドの使用において小学生と中学生は安全に活動できるよう対応しています。小学生の休み時間と中学生の授業が重なる場合はお互いに配慮することもあります。
質問・意見	ICT 機器等による目の酷使が心配です。目の健康を守る教育を検討して欲しいです。ホワイトボードと黒板の差なども気にしながら施設整備をして欲しいです。
回答	タブレットについても、子どもたちに使い方・ルールを説明して使うようにしています。ホワイトボードについては、先進地の視察も行い、光の反射等による影響も踏まえ、反射の少ないホワイトボードの製品を選定するように考えています。

給食提供について

質問・意見	給食のことについて、今日の説明のみで済ますことはしないでください。どのような大きさの車が、何回学校へ入るのでしょうか。また、小学生と中学生の喫食時間が異なると思いますが、その運用はどうなるのですか。配送車がどの時間にどこを通るのですか。そのような内容について、具体的に説明してもらえるようにしてください。自校方式で整備してもらえるように要望します。
-------	--

西小倉地域小中一貫校整備検討委員会、小学校の跡地活用について

質問・意見	小学校の跡地活用について教えてください。
回答	西小倉地域小中一貫校整備検討委員会の地域部会において、西小倉地域及び宇治市全体のまちづくりを見据えた学校跡地利活用の検討をしており、令和5年9月頃に、地域部会から整備検討委員会に利活用アイデアまとめを報告する予定です。
質問・意見	南小倉小学校を宅地化することは決まっているのですか。
回答	地域部会の中のアイデアの一つとして南小倉小学校跡地を宅地化する意見が出ています。現在、決定したということではありません。
質問・意見	跡地活用について地域部会で検討するだけでなく、地域の住民の意見を聞くべきではありませんか。
回答	市民の意見を聞く場を設けることについて、地域部会でも話が出ています。今後、何らかの形で意見を聞く場の検討を行い、決まり次第周知いたします。
質問・意見	地域部会の組織がどのようなことか分からない。地域の人の意見が全く反映されていない。宇治市とその組織の関係性を教えてください。
回答	地域部会の委員については、有識者、西小倉地区コミュニティ推進協議会、西小倉自治連合会、まちづくりのNPO法人から選出いただき、市が事務局となり、市が委嘱しています。
質問・意見	地域部会の2回目の時に、財源の確保が必要であると、市から説明を受けていた。その説明では、どこかの跡地を売却しないといけないと考えるのではないのでしょうか。 今回の説明会の開催について、本日、回覧板で知りました。意見を吸い上げる仕組みをしっかりと検討してください。
回答	説明会の案内については、市教委から連合自治会を經由し各町内会へお渡ししており、その他に市HPや広報版で周知をしています。 説明会を知られるのが、遅くなってしまう事態については、申し訳ありません。
質問・意見	南小倉小学校自体が、雨水排水の要になっているので売却はしないでください。
質問・意見	地域部会・学校部会を傍聴しました。意見交換の時間が短すぎるので、意見交換に2時間ぐらいかけてほしいです。また、PTAの方も毎年変わるのに、地域の意見となるのでしょうか。いきなり会議に呼ばれて、事前に資料説明などがない中、意見を言えるわけがありません。

回答	学校部会において、これまで設計等の資料説明も行っており、そのような資料については事前に配布して、目を通していただく時間を取るなど、取り組んでいます。今後もできる限り様々なご意見をいただけるように運営していきます。
----	--

その他の内容

質問・意見	教育委員会は地域の意見を無視して事業を進めているのではないですか。
回答	西小倉地域小中一貫校整備検討委員会には、地域の実情を踏まえた検討ができるように、地域の様々な団体から検討組織に入っただいています。PTA も含め保護者の意見も反映できるように取り組んでいます。
質問・意見	子ども達が本当に望んでいる学校、喜んでいける学校にしてほしいです。第二グラウンド・体育館空調についても、具体的に説明ができるようにしてほしいです。体育館空調については、後からでも設置できると思います。
質問・意見	学校開放がどのようになるのか、具体的に問題が無いという説明をしてほしいです。
回答	学校開放について、現在3小学校1中学校で行っている全ての活動が小中一貫校1つで賄えるとは思っていません。実際、跡地活用の意見の中でもスポーツ施設整備のご意見もでています。また、学校開放のみならず、統合により様々な団体や組織への影響はあるので、市内部においては関係各課とも情報の共有を行っているところです。
質問・意見	通学路について、危ない箇所を通るのですか。
回答	通学路については、現在、学校部会や保護者、地域の方とともに、通学路案を検討しており、9月には案を決定するスケジュールで考えています。それを基に、安全対策等の必要性も検討し、市内部・京都府警察と協議を行っていきたいと考えています。
質問・意見	平面図では具体的なイメージが湧かないので、模型などを作ってほしいです。
質問・意見	グラウンドに関する子どもの意見を教えて欲しいです。
回答	現在、西小倉小・北小倉小・南小倉小、西小倉中の児童生徒の意見を聞いているところです。小学生の子どもたちの意見としては、校舎やグラウンドが、現在より大きくなるので楽しみと不安の意見が両方存在します。また、中学生からは、今のうちに小学生同士の交流を深めておいた方が良いなどの意見もありました。

質問・意見	工事期間中の避難所はどのようになるのですか。
回答	西小倉中学校の工事期間中には、その場所へ避難所を開設するのではなく、3小学校を使い避難所を開設することを想定しています。市内においても、災害の規模により、近い場所にある小学校と中学校のどちらかを選択して避難所開設することがあります。もし多くの避難所を開設しないといけないような災害が来る際の対応については、関係課と調整をして決めていきます。
質問・意見	精一杯できることを考えた上で、これが限界だということまで考えてほしいです。
回答	今後も決まったことの説明ではなく、地域の方々とコミュニケーションを取り意見交換を行い、出来る事、出来ない事はありますが、整備等に取り組んでいきます。

宇治市学校給食センター基本計画 (抜粋)

施設整備の考え方

(1) 衛生管理

学校給食は、極めて高度な衛生管理が求められることから、給食センターの施設・設備の整備にあたっては、学校給食衛生管理基準及び大量調理施設衛生管理マニュアルに基づき、H A C C Pを採り入れ、食品の流れと人の流れ(動線計画)について明確かつ厳密に計画することとします。

(2) 食物アレルギー対応

食物アレルギー対応食専用調理室を設け、他の調理作業と独立して食物アレルギー対応食を調理します。食物アレルギー対応食の検討や配膳対応に当たっては、栄養士を配置し、確実なアレルギー対応を行います。

(3) 献立

調理する献立は2献立を基本とします。また、宇治市ならではの魅力あるおいしい給食献立の作成・研究のため、献立試作室を設けます。

(4) 食育

給食センターに見学コースや研修室等を整備するとともに、ICTを活用した食育に取り組むことで、児童・生徒が学校給食を通じて、食の大切さや地域とのつながりを感じ、生涯にわたり健全な食生活を営み、健康の保持増進を図れるようにします。

(5) 食数の設定

食数の設定にあたっては、中学校の生徒数・教員数見込みに加え、小学校給食について、「今後の小学校給食については、自校調理方式を基本としながらも、将来的な児童生徒数推移、小学校給食室の老朽化状況等を総合的に勘案し、給食センターからの配送方式を導入することとします。」と定めたことを踏まえ、対象校における必要食数、不測の事態に対応する食数、建設候補地を最大限活用した施設規模として、約6,500食/日を給食センターの最大調理能力として設定します。

(6) 省資源・省エネルギー推進

施設の環境負荷を低減できるよう、LED照明の採用や高効率の空調・給湯機

器の導入等、施設の省エネルギー設計に努めます。

また、献立や食材は、廃棄物ができるだけ発生しないよう検討するとともに、廃棄物となった場合は、減量化、適正処理を行うものとします。

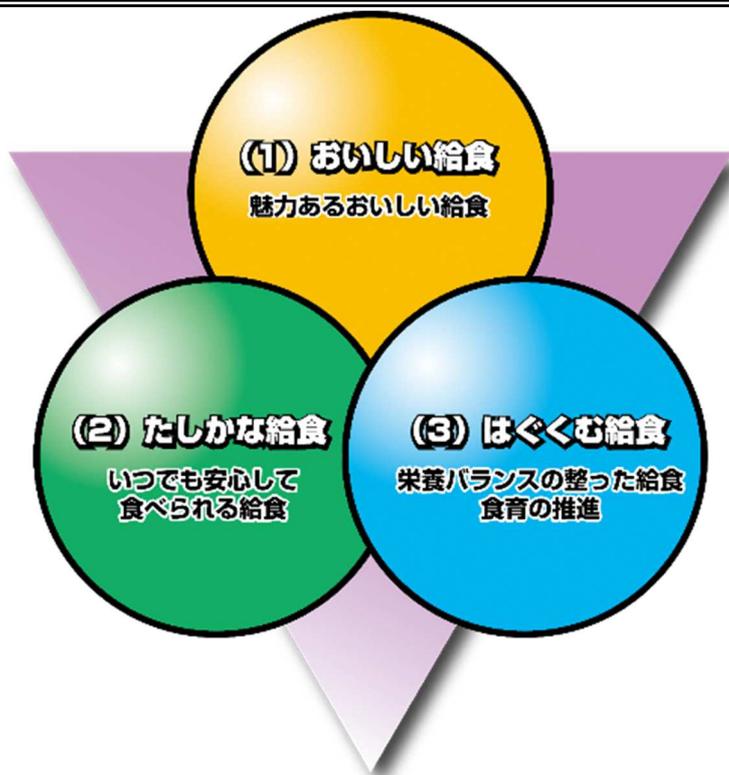
(7) 災害対応機能

耐震基準等に準拠した建築構造とし、災害時に安全確保・機能保全が図れる施設とします。また、災害の状況に応じて、炊き出しなど調理が可能となる施設とします。

(8) 整備時期

令和8年度早期の竣工を目指します。

給食センター 基本方針



(1)【おいしい給食】 魅力あるおいしい給食

献立作成

現在の小学校給食における手法を基本に、栄養士、調理師、学校長等で構成する献立委員会を中心に、魅力あるおいしい給食の献立を作成します。

合わせて、献立試作室を整備し、献立の研究を行います。

給食センターで調理する献立は、2献立を基本としますが、1献立にも対応できるものとしします。また、食事だけでなく、郷土の伝統や文化を学ぶ行事献立等の特別献立も実施します。

食材等の選定・調達

食材等は、現在の小学校給食における手法を基本に、物資選定委員会にて、安全性や品質、地産地消を推進する観点等や価格をふまえて選定することにより、良質な物資の調達を行います。

調理

調理室は給食の調理に適した調理工程を実現でき、また、幅広い調理方法や効率的な調理が可能となる調理機器を導入し、食材の持ち味を生かした調理を目指します。

適温提供

温度を保持して提供するために、保温保冷に優れた食缶等を導入します。

(2) 【たしかな給食】いつでも安心して食べられる給食

衛生管理環境

人による汚染拡大を防止し、徹底した衛生管理を図るために、給食エリアと職員や来客が出入りする事務エリアを明確に区分します。

給食センターはHACCP及びドライシステムを導入し、学校給食衛生管理基準に従い、二次汚染防止の観点から給食エリアを汚染作業区域、非汚染作業区域に分けるなど、明確かつ厳密な衛生管理が行える施設とします。また、臭気、防音対策、適切な温湿度管理を行います。

配送

配送は安全に行うことを第一に、調理後2時間以内の喫食ができるよう、計画的・効率的に行います。あわせて、搬出入作業の安全に最大限配慮するとともに、各学校の実情に応じた提供ができるよう検討します。

また、使用するコンテナ等の器具は、衛生管理を徹底できるものとします。

食器

安全性や衛生面、軽量であることの運搬のしやすさ等を考慮して、これまで小学校給食で導入してきた樹脂製食器(PEN食器)を基本にします。

異物混入防止

異物混入防止のため、破損しにくい機器やステンレス製品等、劣化しにくく、つなぎ目部分がない器具等を導入します。

また、建物の構造・設備は、外部からの汚染を受けにくいものを検討します。

食物アレルギー対応食

食物アレルギー対応食は、アレルゲン物質の混入を防ぐため、食物アレルギー対応食専用調理室・設備を設け、調理する場所を独立した部屋とし、他の調理作業と区分して食物アレルギー対応食を調理できる施設とします。

また、食物アレルギー対応食調理専用の調理機器及び器具も設置します。

事務機能

献立作成や食材選定、調理現場との連絡調整等、円滑な学校給食運営を図ることのできる施設とするために、事務室を整備します。

(3) 【はぐくむ給食】栄養バランスの整った給食、食育の推進

栄養バランスの整った給食

小学生、中学生のそれぞれの学校給食摂取基準に応じて栄養バランスの整った献立を作成します。

地産地消

給食の食材として積極的に地元産食材を使用し、児童生徒が地域の食材・食文化への理解を深められるよう、地産地消を推進します。

米飯給食

日本の伝統的な食生活の基本である米飯を中心とした食習慣の形成や、地域の食文化への関心を深めることなどを目的として、これまでの小学校給食と同様、週3回以上を基本に米飯給食を実施します。

給食センターを活用した食育

児童・生徒が学校給食を通じて食の大切さや地域とのつながりを感じ、生涯にわたり健全な食生活を営み、健康の保持増進を図ることができる施設とするため、給食センターに見学コースや研修室を整備するとともに、給食センターを活用した試食会や調理実習、ICTを活用した食に関する指導や調理の様子の配信等、児童・生徒への食育の取り組みを進めます。

また、親子で参加できる取り組みなどを通じて、児童・生徒のみならず保護者等も対象にした食育活動を実施します。

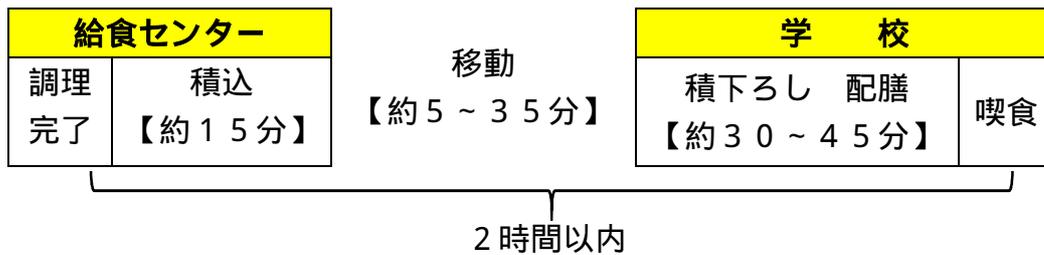
学校と連携した食育

教科や特別活動において、学校給食と関連させた食に関する指導に取り組みます。

配送計画について

(1) 配送時間

学校給食衛生管理基準において、「調理後 2 時間以内に喫食できるよう努めること」と定められており、調理完了後から 2 時間以内に対象校の児童・生徒が喫食できることを前提にします。



(2) 配送に関する備品等

コンテナ・配送車

食器・食缶の運搬のために、以下のコンテナ・配送車を導入します。



食缶



* 温かいものは温かく、冷たいものは冷たい状態で給食をおいしく提供できるようにするために、保温性に優れた食缶（飯食缶・汁食缶・焼揚蒸物用食缶・和え物食缶等）を導入します。さらに、配膳室からの運搬も考慮し、持ち運びやすさも配慮します。

* 写真はいずれもイメージです

食育に関する機能について

(1) 見学通路

- ・ センターの2階部分に、煮炊き調理室など1階調理室の様子を見学できるスペースを整備します。
- ・ 通路には給食の歴史や地場産食材の紹介コーナーといった食育に関する展示を行い、調理作業の見学とあわせて、給食を学べるスペースとします。

(2) 研修室

- ・ 学校給食に関する会議等を行うとともに、給食の試食会や、センターを訪れた児童・生徒への食育授業に活用する研修室を整備します。

(3) 献立試作室

- ・ 栄養担当職員を中心に、新規献立の開発や給食で使用する食材選定のための調理等を行うとともに、児童・生徒が保護者とともに参加できる「親子料理教室」等の企画も実施する、献立試作室を整備します。

(4) ICTの活用

- ・ ICTを活用できる機器を設置し、以下のような取り組みを検討します。

オンラインを活用した食に関する指導

- ・ 給食センターから学校・学級に配信し、指導を行う。
- ・ 栄養教諭の指導を一斉配信し、給食指導につなげる。

給食センターでの調理の様子を動画で配信

- ・ 立ち入りできない調理場内の様子を見ることができる。
- ・ センターで働く調理員からのメッセージや子どもたちからの感想を動画でお互いに届けることができる。

生産者からの声を各学校に発信

- ・ センターに食材を納品される業者から、食材への解説のほか、おいしく食べてほしいという思いを子どもたちに直接届けることができる。

動画の利用

- ・ 栄養教諭が対面で食育の授業をする際等にも、センターからの動画を見せながら行い、食育の授業の効果を高めることができる。

1. 小中一貫教育について

1-1 小中一貫教育とは

義務教育9年間(小学校6年、中学校3年)を通して、児童生徒の発達段階に応じた系統的・継続的な学習指導や生徒指導を行うことや、一貫した切れ目ない相談・支援体制の構築により、学力の充実・向上を図るとともに豊かな人間性や社会性を育み、「将来の夢を持ち、自己実現に向けた努力ができる子ども」を育成する教育です。

1-2 小中一貫校とは

宇治市内には、施設一体型の小中一貫校と施設分離型の小中一貫教育校の2種類があり、西小倉地域では、同一敷地内に小学校と中学校の施設が一体となった、施設一体型の小中一貫校の整備を計画しています。小学校と中学校の各指導内容を9年間のまとめりとして捉え、系統的・継続的な学習指導を推進します。

施設一体型の小中一貫校の特徴としては、小学生にとっては、普段の学校生活の中に、中学生がいることで憧れが芽生え、また中学生にとっては自分が小学生の目標となるよう自覚が生まれることで、自己有用感や自尊心が育まれ、穏やかな学校風土を創り出すと考えています。

さらに、中学校スタート時から子ども同士のつながりが深いことで、特別な配慮を要する生徒間の相互理解が進むと考えています。

1-3 何故、西小倉地域で小中一貫校を作るのですか

西小倉地域(西小倉小、北小倉小、南小倉小学校区)の児童生徒数が減少し、単学級化(1学年1学級)が進んでいる状況があること

令和元年12月に地域を主体として発足した「西小倉地域の小中学校のあり方検討委員会」からの、3つの小学校(西小倉小学校・北小倉小学校・南小倉小学校)と西小倉中学校を統合し、小中一貫校として新設の学校の整備を求める要望が出されたこと

こうした状況、また宇治市の小中一貫教育の取組みを踏まえ、本市2校目の施設一体型小中一貫校となる(仮称)西小倉地域小中一貫校の整備に向けて検討を開始し、令和3年8月に開校場所を西小倉中学校敷地に決定し、令和8年4月の開校を目指すこととしています。

1-4 小中一貫校は必要なのですか

現在、市内には施設一体型小中一貫校は宇治黄檗学園の1校のみで、他の地域では施設分離型の小中一貫教育校として小中一貫教育を推進しています。

義務教育の貴重な9年間を、学びと育ちの連続性の中で、子どもが育まれていくという小中一貫校の存在意義は大きいものと考えており、一貫校の方が、小中一貫教育をより効果的に実践しやすいと考えています。

1—5 開校場所を西小倉中学校としているのは何故ですか

地域主体の西小倉地域小中一貫校開校準備協議会において、校地や通学、学校生活等について協議をいただき、その協議内容も踏まえ、敷地面積が最も広い西小倉中学校を開校場所として決定しました。

1—6 卒業式、入学式などの行事はどのようになるのですか

現在と同様に、小中学校の卒業式、入学式の実施を予定しています。今後、小中学校が交流をして実施する行事など、学校と決めていきます。

2.(仮称)西小倉地域小中一貫校の施設について

2-1 施設の特徴は

校舎棟の中心に中庭がある回廊型の校舎、中庭との一体利用が可能な1Fの交流ホール、2F~4Fのメディアセンター・コモンズ、ゆとりある教室空間、複数の屋内運動施設など、新しい時代の教育にふさわしい施設整備を実施しています。また、ZEB Oriented(6-2に説明あり)を取得した環境へ配慮した施設整備を計画しています。

2-2 他の市内の学校との違いは

人工芝を敷いた中庭、廊下から自由な出入りを促すメディアセンター(学校図書館)、各階のコモンズは、市内で初めての施設整備となります。また、普通教室の面積は72㎡あり、これまで(約64㎡)より広い空間となります。なお、ZEB Orientedを取得した公共施設は市内で初めてです。

2-3 施設の設計の検討はどのように行ってきましたか

令和4年1月から設計業務を開始し、併せて西小倉地域小中一貫校整備検討委員会学校部会において、学校の施設整備等について議論・検討をいただき、また地域・保護者・教職員等の説明会・意見交換を行い、施設の設計についての検討を進めてきました。

2-4 グラウンドはどのようになりますか

屋外の運動スペースとして、メイングラウンド、サブグラウンド、テニスコート、屋外プレイエリア(敷地北西)を整備します。加えて屋内運動スペースとして、第1体育館、第2体育館、武道場を整備します。小中学生の体育の授業、部活動については、それらのスペースで実施します。また、学校全体が児童生徒の活動スペースであり、中庭などの活用もいたします。

2-5 敷地外に第二グラウンドが必要ではないですか

小中学生の体育の授業、部活動については、敷地内のメイングラウンド等で十分に実施できますので、第二グラウンドの整備は考えておりません。

2-6 屋外遊具で子どもたちが遊ぶ時に、教職員の目は行き届きますか

現在もグラウンド等での活動時に教職員が見回りを行うことがあり、同様の対応を出来る限りの範囲内で実施するように考えており、運営面は学校と決めていきます。ただし、校内で児童生徒が活動する全ての場所に常に教職員がいるということではありません。(他の小中学校同様)

2-7 防災機能面はどのようになりますか

小中一貫校は災害時に避難所となることを想定し、第1体育館を2Fに配置し、水害の対応に備えます。また、停電時には一定の体育館の電力を確保できるようインバーター式の発電機を設置できるようにし、屋上のプールの水をトイレの洗浄水にするなど、災害対応の計画をしています。また、マンホールトイレをはじめ、必要な防災備品類等の備蓄を予定しています。

2—8 特別支援学級を小学生は2F、中学生は4Fの配置にしているのは何故ですか

特別支援学級の配置につきましては、通常学級との交流を行いやすい教室配置としています。

2—9 トイレの場所はどのようになっていますか

校舎棟の北側・西側、アリーナ棟の東側にトイレがあります。学校活動面で不足がないように、トイレの個数を決めています。また、校内に5箇所の多目的トイレの配置を計画しています。

2—10 手洗いの場所はどのようになっていますか

各トイレ近くに手洗いを配置し、校舎棟のトイレ前、コモンズ内に広めの流し場を配置する計画です。グラウンド等へも手洗い・足洗い場を配置する計画です。

2—11 給茶機はありますか

2Fと3Fのコモンズに給茶機の設置を計画しています。給茶機とは、蛇口からお茶が出る設備です。

3. 開校・工事スケジュールについて

3-1 開校時期はいつですか

令和8年4月を予定しています。

3-2 開校は小学校・中学校同じですか

開校(新校舎の使用)は、小中学校同時を予定しています。

3-3 工事スケジュールはどのようになりますか

令和5年秋頃から、工事車両が敷地内に進入するための仮橋(井川に架ける橋)を敷地南側に設置する工事に着手し、令和6年1月以降から、新校舎建築工事の実施を予定しています。詳細な工事スケジュール等が決定した段階で、引き続き皆様へご説明・お知らせをしていきます。

3-4 仮橋とはどのような内容ですか

工事期間中に児童生徒と工事車両の動線を分けるために設置します。原則、工事車両は仮橋を使用して、敷地内に進入します。車両の大きさなどの理由で仮橋の使用ができない場合には、安全に配慮した上で、東門を使用します。

3-5 サブグラウンドの整備はいつですか

現武道場の跡地をサブグラウンドに整備する計画であり、令和8年4月の開校までにサブグラウンドを整備する予定です。

3-6 開校時(R8.4)に屋外のグラウンド等がありますか

開校時には、サブグラウンド、屋外プレイエリア(敷地北西)、北側エリアが完成している計画です。

3-7 開校後(R8.4)の工事はどのような内容ですか

開校後に、現在の校舎棟・体育館棟などを解体し、メイングラウンド・テニスコート等の整備を行います。全体として1年半程度の工事期間を予定しています。

3-8 小学校の開校を遅らせることは考えないのですか

小中一貫校の整備は、長年の地域の願いと認識しています。また、近年の児童生徒数の減少で、単学級化(1学年1クラス化)が増加してきており、多くの友達と触れ合い様々な刺激を受けて育つ環境の維持として、少しでも早く子どもの学びと育ちの環境を整えるため、早期開校に向けて取り組んでいます。開校後に解体工事の影響は少なからずありますが、それ以上に安全面に考慮するのは当然の事ながら、子ども達の活動場所として中庭・屋外プレイエリア(敷地北西)、サブグラウンド、今後調整予定ですが休み時間における第1体育館・第2体育館・武道場の開放なども想定しており、加えて各階のコモンズやピロティ、ホワイエなど子どもたちが活動できるスペースを整備します。これらを踏まえ、小中一貫校ならではの異学年交流や、魅力溢れた施設を1日でも早く新たな学びの場として活用したいと考えています。

4. 工事中の学校運営について

4-1 工事中の児童生徒の安全は確保されますか

工事中は、児童生徒の活動エリアと工事エリアを分けます。また、工事車両等については、敷地南側の仮橋を使用して敷地内に進入します。児童生徒の安全を第一に工事を実施します。

4-2 工事中の騒音などはどのようになりますか

工事を行う建物の周囲には防音シートを設置し、大きな音の出る作業は可能な限り授業時間外で調整するなどの対策を行います。

また、解体工事においては、解体機械・解体順序の検討を行い、可能な限り騒音対策に努めるとともに、学校のカリキュラムにも配慮し、学校教育活動に支障が出ないように努めます。

4-3 工事中の体育・部活動はどのようになりますか

令和6年1月～令和8年3月までの工事期間中の体育については、近隣の小学校(西小倉小学校・南小倉小学校)のグラウンド等を使用する調整をしています。また、部活動については、近隣の小学校に加えて、巨椋ふれあい運動広場などの公園施設の使用について調整をしています。

次に、令和8年4月開校後のグラウンドの使用については、旧校舎の解体工事及びメイングラウンドを整備している期間中に、近隣の小学校等のグラウンドの使用を予定しています。

4-4 建築・解体工事で騒音の大きい工事はどのような内容ですか

工事内容により出る音に違いはありますが、建築工事の足場の組立て時・ばらし時や、解体工事の杭抜き時などに大きな音が出る見込みです。大きな音が出る作業の際には、特に作業時間帯などの内容を学校と調整し、実施していきます。

5. 給食提供について

5-1 何故、自校給食ではなくセンター給食となるのですか

令和4年8月に決めました「今後の小学校給食の提供方式の方針」(概要:今後の小学校給食については、自校調理方式を基本としながらも、将来的な児童生徒数推移、小学校給食室の老朽化状況等を総合的に勘案し、給食センターからの配送方式を導入することとします。)を踏まえ、(仮称)西小倉地域小中一貫校では敷地内スペースの有効活用の観点も持ち、校舎内に配膳室を設け、給食提供方式は給食センターからの配送方式としました。

5-2 令和8年4月に給食センターの提供は間に合いますか

令和8年4月に給食提供が開始できるように、現在取り組んでいます。

5-3 給食センターでは食育はどのようにされますか

給食センター内に見学通路や、調理実習も可能となる献立試作室など、食育活動に活用できる施設を整備します。さらにICTを活用して学校と連携した食育の取り組みをすすめていきます。

5-4 アレルギーの対応はどうなりますか

現在小学校給食におけるアレルギー対応として、アレルギー物質を全て除いた除去食を1種類提供しております(主菜がアレルギー物質であるなど、その日の献立の大半を除かないといけない場合などは、お弁当の持参をお願いする場合があります)。

今般整備する給食センターにおいても、現在事業者を公募する中で、基本的には同様の対応が可能となる施設整備を求めています。同時に事業者からの更なる良い提案も求めており、運用の詳細については、提案内容も踏まえた上で調整していくこととなります。

5-5 小学生と中学生は同じ給食となりますか

これまで市内統一献立を実施してきた運用を基本としつつ、おいしい給食が提供できるように献立内容の検討をすすめます。

5-6 給食費はどのようになりますか

小学校給食費については、他の小学校と同じです。中学校給食費については、他市事例では小学校の20~30%程度高い金額を設定されるケースが多いと認識していますが、具体的には今後決定していきます。

5-7 給食の配送車が校内を通行する時に危険はありませんか

給食配送車が、校内を運行する際には、車両と児童生徒の交錯がないように取り組みます。具体的には、出来る限り配送時間を調整すること、また校内運行時は最徐行、必要に応じた人員による誘導を検討しており、今後の運用面においても、必要な安全対策を行っていきます。

5—8 給食はどのように教室まで運ばれますか

小学生は他の学校と同じく、教室前まで給食が運ばれてくる状況にすることを予定している。中学生は、4Fにパントリースペースを整備し、その場所を生徒の配食に活用することを予定しています。2F以上への移動については、エレベータの使用を予定しています。

6. 新しい施設整備の説明

6-1 回廊型校舎

校舎の中央に中庭を配置した校舎の形状です。校舎の内側(中庭側)が廊下となっており、廊下から中庭を見渡すことが可能です。

6-2 ZEBを取得した校舎

ZEB(ゼロエネルギービルの略)。(仮称)西小倉地域小中一貫校が目指す、ZEB Orientedは、複層ガラスの使用や、外壁の高断熱化により、省エネルギー化を実現し、従来工法の建物と比べ必要なエネルギー消費量を40%以上削減し、60%以下にする校舎です。

6-3 交流ホール(校舎棟1F)

1Fの中央に位置する交流ホールは、昇降口から入った先に位置し、開かれた広い空間であり、学級発表や吹奏楽部のコンサートなど、様々な多目的な活用が可能。また、中庭との一体的な利用により、イベントや屋外学習等にも活用。

6-4 ピロティ(アリーナ棟1F)

壁がなく開放的な半屋外の空間で、雨天時の部活動や体育などの活動場所や、部活動等で日影となる休憩場所としての活用。

6-5 ホワイエ(アリーナ棟1F)

廊下部分を広く取った空間で、雨天時の部活動や、芸術作品の展示、地域との交流など様々な用途に活用。

6-6 中庭(校舎棟1F)

交流ホールとの一体的な活用が可能であり、人工芝を敷き、子どもたちが自由に座ったり、寝そべったりしてくつろいで交流できる場。

6-7 メディアセンター(2F~4F)

2Fは主に小学校用図書を配置、4Fは主に中学校用図書を配置、3Fはグループ学習など様々な活動・対応ができるような空間とします。2F~4Fは一体活用可能であり、各フロアの空間は廊下との壁を無くすことで、開放的な空間となり、子どもたちが自然と本に触れる場所となります。普段から本が身近になる教育環境を創出し、またICT機器を利用して、課題を探究し、主体的かつ創造的で多様な調べ学習にも対応します。

6-8 コモンズ・教師ステーション(2F~4F)

コモンズでは、児童生徒の作品を展示・鑑賞・発信することで同学年・異学年の活動を身近に感じ、刺激を受け、仲間とのつながりを育みます。また、コモンズ内に教師ステーションを配置し、気軽に子どもと教師が触れ合い、交流を育みます。コモンズはメディアセンターと一体的な活用が可能で、グループワークの場所にもなります。また、様々な行事や委員会等も実施可能です。

6—9 普通教室(2F~4F)・ホワイトボード

ゆとりある教室では、タブレット端末を利用した学習や多正面学習、グループ学習など、動きのある学習により柔軟に対応できます。また、黒板をホワイトボード化することで、子どもたちにとって、文字の見えやすさと書きやすさが向上し、加えて、プロジェクターの映写が可能である事などICT機器を活用した新しい時代の学びを促進します。

7. その他の内容

7-1 これまでの説明会の開催状況は

令和4年度に策定をしました基本計画素案、基本計画、基本設計のそれぞれの段階で、保護者や地域の皆様への説明会、意見交換会を、各小学校や西小倉コミュニティセンターで実施をしてきました。

7-2 今後の説明会は

工事に關すること、学校運営に關することなど、保護者や地域の皆様へ、今後もし説明を行う内容はできます。説明できる事柄を整理した段階で、説明会という場を含め、HPや文書等で、引き続き皆様へご説明・お知らせをしていきます。

7-3 放課後に、育成学級や小学校の児童はどこで遊びますか

放課後、育成学級や小学校の児童は、屋外プレイエリアやサブグラウンドの使用を予定しており、メイングラウンド、テニスコートや体育館等の屋内のエリアの使用については、部活動の使用を踏まえ、学校と決めていきます。

7-4 サブグラウンドや北側のプレイエリア、中庭でボール遊びはできますか

各場所における運動内容や道具の使用等の運用面については、学校と決めていきます。

7-5 小学校の跡地活用はどのようになりますか

西小倉地域小中一貫校整備検討委員会の地域部会において、西小倉地域及び宇治市全体のまちづくりを見据えた小学校跡地の利活用方法を検討しています。今後、地域部会から整備検討委員会へ、まとめた内容の報告を予定しています。

その報告も参考にして、市で跡地活用についての方向性を決める予定です。

7-6 駐車場はどのようになりますか

東門から学校内へ入り、左折した場所(南側)に駐車スペースを確保いたします。原則、校内の駐車スペースはその場所となります。

7-7 学校開放はどのようになりますか

学校活動としての使用を優先にした上で、地域の活動状況等も踏まえた上で、学校開放施設・内容等を決めていきます。

7-8 子どもたちの意見をどのように活かしますか

令和5年7月に、西小倉小学校、北小倉小学校、南小倉小学校、西小倉中学校の児童生徒の意見交換(施設整備の説明・意見集約等)を行っており、児童生徒が前向きに不安なく過ごせるように、引き続き、令和8年4月の開校に向けての必要な整備・対応を行っていきます。

7—9 通学路はどのようになりますか

現在、西小倉地域小中一貫校整備検討委員会の学校部会・各校のPTA等が中心となって、(仮称)西小倉地域小中一貫校までの通学路の検討を行っており、令和5年9月を目途に、主要な通学路の案を決定する予定としています。

7—10 校名、校歌、制服などいつ頃決まりますか

令和5年度から、学校部会において、校名・校章・校歌・制服等についての検討を始める予定であり、校名は公募等を行い決める予定としています。令和6年度中に校名・校章、令和7年度中に校歌・制服等を決める予定としています。

7—11 現、北小倉小学校の卒業生は北宇治中学校へ進学していますが、令和8年以降も北宇治中学校へ進学することは可能ですか

一定の条件(兄弟が北宇治中学校に在籍)などを考慮した上での、指定校変更制度の実施について、検討を行っています。

7—12 部活動の種類はどのようになりますか

部活動の種類は、現在の部活動を基本として学校が決めることとしております。